

保存活動



保存活動



遊歩道階段整備



看板設置



久尻塾



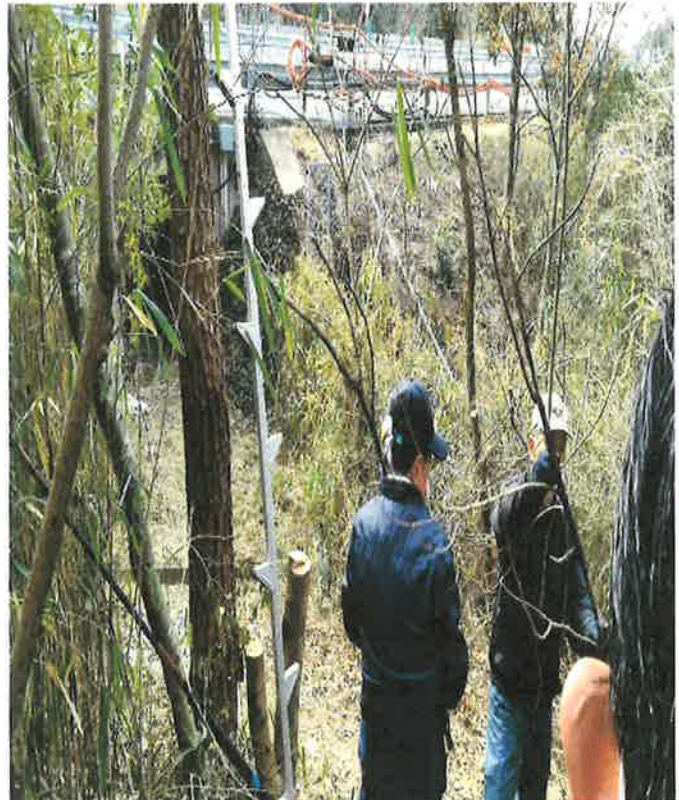
伐採作業



伐採作業



伐採作業



久尻用水を守る会

編集 川上保男(語り部)

久尻用水について(泉西公民館ウォーキング資料より)

1 久尻用水の概要

- 工事期間: 文政6(1823)年から、文政9(1826)年 約3年。
- 深沢川の五斗蒔に取水口を作り、深沢川の東中腹を通り、字堤内の天王池までの、延長5049mの水路(天王池もこの時作られた)

2 なぜ久尻用水を引くことを決めたか。

- 久尻には久尻川・寺下川など小さな河川しかなく、雨が少なく旱魃のときは米がとれなくて貧乏をしていた。

3 誰が久尻用水を引くことを思い立ったから

- 2説ある
1つは久尻の大工 土本善七さん。
(昭和57年2月に発行された泉小学校の社会科副読本(教科書の補助教材)より)
もう1つは、村役人や百姓の代表が話し合っただけ。
(平成元年10月に発行された『ふるさと泉 人物編』より)

4 困難の大きな工事であった

- 工事は、役所から何の補助もない「自普請(自分たちが全ての責任を持って行う)」で行った。
- 工事は、農閑期(春先、晩秋、冬)に行った。
- 現在のような測量機器や工事用機械のない時代であった。

- ①適切な勾配を測る
- ②水路を谷川に渡す
- ③トンネルを掘る
- ④石垣を作る

- 岡田仁一さんが先祖(当時の庄屋)から受け継いだ古文書資料
『当用水路自普請出来形帳』によると、これに要した人足は、延べ1万6764人。
この頃の久尻村は戸数205戸、人口894人。

活動概要

土地の四季の魅力や歴史を暮らしに取り組むこと。

- 久尻用水の全長5kmの周辺には自然と文化・産業遺産が多数ある。(約20カ所)
- 「久尻用水を守る会」は用水路の保存・整備だけでなく他の文化・産業遺産を活用し自分の町らしさ・誇り・自慢に結びつける事により住民の郷土愛を深める。
- 子供たちが成長し出身地等の自己紹介の折には30分は自慢話出来るかも。
- また、年配者は「語り部」となり魅力を自分の自慢話のようにみなさんへ楽しく語ってもらう。
郷土ウォーキングにも参加していただき、人とのふれあいを生きがいとする。

1 久尻用水の調査活動

2 久尻用水のいわれなどの周知

3 散策される方への案内、
歴史的説明、安全指導など

4 久尻用水の保存・整備活動、
地域作りの進展に寄与する

ちょっと雑学

諸説あります



当時の人(1823年…工事が始まった年)

1 将軍 家斉

①1773年生まれ 1841年没(68歳)
文政6(1823)年 将軍家斉さんは50歳

2 遠山左衛門尉景元

①1793年生まれ 1855年没(62歳)
②通称 金四朗
文政6(1823)年 金さんは30歳

3 清水次郎長(山本長五郎)

①1820年生まれ 1893年没(73歳)
②米問屋の息子
文政6(1823)年 次郎長さんは3歳

4 井伊直弼

①1815年生まれ 1860年没(45歳)
文政6(1823)年 直弼さんは8歳

5 葛飾北斎

①1760年生まれ 1828年没(68歳)
文政6(1823)年 北斎さんは63歳

時は幕末に近い江戸後期

外国船が日本各地の近海に出没し、幕藩体制が揺らぎ始めるころ。
明治維新は45年後ほど。

久尻用水コース

久尻用水跡の石垣

文政9年(1826年)、水不足に悩む久尻村では、深沢川の水を利用するため、農民の手によって約4年の難工事のすえ、五斗蒔から天王池まで約5km(2777間)の用水路を完成した。
久尻用水は中央自動車道建設工事まで使われたという。



美濃焼伝統産業会館 ● 高根山古窯跡群

① 取り入れ口

きらめきの森

見えます

② 水路の石垣

嵐山 ●

見えます

久尻用水

見えます

③ 隧道(トンネル)

④ 工事の安全記念碑

● 土岐津駅建設記念碑

マグロード

至丸山

- 工事開始 文政6年(1823)3月
- 工事終了 文政9年(1826)2月
- 用水の長さ 2,777間(約5,049m)
- 使用人足 延べ16,764人
- 手当米 125石4斗8升6合2勺
(※1人当7合5勺)



川戸新道
土岐川の甌穴

東海環状自動車道

五斗蒔スマートIC



久尻用水の歴史
この久尻用水とは、久尻地区丸石(緑が丘、日之出)方面から寺下天王池方面一帯の水不足を解消するために造られた用水路である。
文政六年(一八二三)に五斗蒔地区の深沢川の水と北畑池から流れる水をこの場所に取り入れ口を造り、深沢川に沿い下り約二千六百米に石垣積みをし流し流水し丸石(緑が丘)に(トンネル高さ一、五米、巾一、二米、長さ六十四米)を掘り抜き、更に東山麓に水路を掘り下げ寺下の天王池に流し入れた。
文政九年二月(一八二六)久尻用水五千四十九米を三年余りで完成させた久尻村の人たちの大偉業である。
平成二十九年十一月吉日
久尻区 泉久会 建立